

〔評価結果の公表様式〕

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関情報

評価機関名: 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』 (認証番号21地福第1490-2号)
訪問調査 実施日: 平成22年11月17日(水)

②事業者情報

名称:(法人名) 社会福祉法人 西光寺福祉会 (施設名) めばえ保育園	種別:(施設種別) 保育所 (基準の種類) 児童福祉施設(保育所版)
代表者氏名:(施設長) 伊藤 理恵	定員(利用人数): 30名
所在地:〒492-8083 愛知県稲沢市下津森町68番地	TEL 0587-23-4811

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>保育の実践面では、若い園長を中心にして、主任保育士・保育士のチームワークのもとで、基本的な取組みが為されていると判断した。具体的には、理念・方針に則り、明文化された基本姿勢によって、子ども達へ提供する保育内容として統一された、ほぼ望ましいレベルに到達している保育園である。子ども達が伸び伸び生活できる保育園でもある。</p> <p>また、諸行事の都度保護者等の満足度も含む実施後アンケートを採って、今後のサービスの向上に活かそうという取組み方は積極的に評価したい。</p>
<p>◇改善を求められる点</p> <p>中長期計画等では園長からの口頭説明では十分に確認できたが、文章化が望まれる。また、その他の(管理)帳票関係も同様、今後できるだけ文章化しておくことを期待したい。</p>

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>経験年数が短く、自分達の保育に対して不安や疑念を抱くことがありながらも、何を改善していったら良いのかわからない状態でしたが、今回の第三者評価を行ったことで、客観的に自分達の保育を見ることが出来、良かったと思います。園の良い所や改善点を知ることが出来たことは、とても有意義なものでした。ご指摘頂いたマニュアルや文章化については、沢山の意見を取り入れながら進めて行きたいと思っています。この評価結果を真摯に受けとめ、今後のサービスの向上に活かしていきたいと思っています。</p>
--

⑤第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

# 評価項目(細目)の評価結果(保育所)

※すべての評価細目(82項目)について、判断基準(の3段階)に基づいた評価結果を表示する。

## 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	保 1	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	保 2	a ・ Ⓑ ・ c
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	保 3	a ・ Ⓑ ・ c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	保 4	Ⓐ ・ b ・ c

### 評価機関のコメント

★理念、方針共に明文化されていて、その考え方や内容についても子供に愛情をそそぐこと等、所長への聴き取りの中でもしっかりと把握することができた。  
 ★基本方針について、所長から聴き取ることができたが、その押さえが具体的にはなっていないところもあるため、内容について具体化していくことが期待される。  
 ★毎朝朝礼時に職員に伝えたり、職員トイレに掲示して、職員が自然に理解できるようにしているということであった。職員トイレの掲示は確認するが、職員の聞き取りから理解されているかどうか十分に確認できなかった。周知方法はよいアイデアであるので、もう一步の努力を期待したい。  
 ★稲沢市職員の立会いのもとに入所説明会の時に、基本理念や方針について入所を希望する人に話している。また、保護者向けのアンケート等で園に対しての要望を聞き、日々の保育に生かしている。

### I-2 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	保 5	a ・ b ・ Ⓒ
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	保 6	a ・ b ・ Ⓒ
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-2-(2)-①	事業計画の策定が組織的に行われている。	保 7	a ・ b ・ Ⓒ
I-2-(2)-②	事業計画が職員に周知されている。	保 8	a ・ b ・ Ⓒ
I-2-(2)-③	事業計画が利用者等に周知されている。	保 9	a ・ Ⓑ ・ c

## 評価機関のコメント

★今後の計画や方針など口頭では聴き取ることができた。はっきりした構想もあるため、文書化し、計画性のあるものにすることを期待する。  
 ★中長期計画同様に口頭では聴き取ることができたが、具体化に欠けている。また、文書化もされていないので、文書化し、具体的な立案を期待する。  
 ★職員会議等で話し合っているとのことであったが、内容を確認すると年間の行事計画であった。  
 ★中長期計画などは職員に周知できることではないということだった。計画の文書化がされていないことや具体的立案がないこともあるが、職員に必ず周知すること、職員にしなくてもいいものの区別やその根拠など明確ではない。職員に周知されいるのは年間行事であった。  
 ★保護者への周知は、年間行事計画であった。保育園の事業を加えて周知することを期待する。

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	保 10	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保 11	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	保 12	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	保 13	Ⓐ ・ b ・ c

## 評価機関のコメント

★職務分担表などはないが、職員に対して、異動した際に自分が管理者として果たす責任等について職員に明言し、責任は自分にあるので、思い切って仕事をして欲しいと明言しているとのことであった。職員からもこのことについては確認できた。  
 ★法令等は常時、インターネットで確認、必要にあわせてプリントアウトするということがあった。園長研修や市の交流会に積極的に参加し、通達など常に確認することだった。しっかり把握していることを聴き取りにて確認する。  
 ★行事ごとに保護者からアンケート調査を行ったり、意見を聴き利用者からの発言を職員に検討させていることが記録などで確認できた。保護者とのコミュニケーション作りを考えたり、十分な指導力を持って職員を導いていることが確認できた。  
 ★職員の生活の安定や仕事のしやすさについて考え、経営や業務がどうあるとよいのか、口頭であるが聴き取ることができた。経営のあり方も先を見据えて模索している様子が伺えた。文書化して、計画性を持たせることに期待する。

## 評価対象 II 組織の運営管理

### II-1 経営状況の把握

		第三者評価結果	
II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	保 14	a ・ Ⓑ ・ c
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	保 15	a ・ Ⓑ ・ c
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	保 16	a ・ b ・ Ⓒ

## 評価機関のコメント

★的確に把握されているが明文化されていない。あと一步の努力を期待する。  
 ★口頭では聴き取ることができた。明文化されていないので、改善に向けた取り組みに計画性がないので文書化し、計画性を持たせることに期待する。  
 ★外部の監査は受けていない。

## II-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果	
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	保 17	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	保 18	a ・ b ・ ㉔
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	保 19	㉑ ・ b ・ c
II-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	保 20	㉑ ・ b ・ c
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	保 21	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	保 22	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	保 23	a ・ ⑥ ・ c
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	保 24	a ・ ⑥ ・ c

### 評価機関のコメント

★人事体制は、福祉会総合で行っているため、不足人員を異動という形で補っている。年度ぎりぎり異動をするケースもあるとのこと。プランがあつての人事管理体制ではないので、計画的に行われることが期待される。

★所長の思いは評価したいが、人事体制にプランや計画性がない。客観的な基準がないので、基準など設けて職員が先に希望を持って意欲的に働けるシステムを確立されたい。

★職員の就業状況に合わせてその意向を聞き取り、改善していることが職員の聞き取りから確認された。この仕組みが文章化され、記録に残されることを期待する。

★職員の就業状況や就業年数により、リフレッシュ休暇を取るようにはさせるなど、生活や健康の管理に心を配っている様子が見えた。休暇の消化については職員への聞き取りで確認できた。

★研修の基本姿勢や体制は明示されていないが、稲沢市の職員研修には計画的に参加しており、職員一人ひとりの課題に合わせて随時研修に派遣している。基本姿勢が明示されることを期待する。

★研修計画は策定されていないが、職員の課題に合わせて研修に派遣している。職員一人ひとりの研修計画が策定されることを期待する。

★研修後の報告等の記録を確認する研修内容の報告会は行っているが、研修計画がないため評価や見直しが具体的にされていない。研修計画の策定と共に現在行っている研修報告について評価し、研修の見直しに活かされることを期待する。

★実習生の受け入れは行われていて、育成体制はあるが効果的なプログラムが用意されていない。

## II-3 安全管理

		第三者評価結果	
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	保 25	㉑ ・ b ・ c
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	保 26	a ・ ⑥ ・ c
II-3-(1)-③	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	保 27	a ・ ⑥ ・ c
II-3-(1)-④	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	保 28	a ・ b ・ ㉔
II-3-(1)-⑤	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	保 29	a ・ b ・ ㉔
II-3-(1)-⑥	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	保 30	㉑ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑦	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 31	㉑ ・ b ・ c
II-3-(1)-⑧	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 32	a ・ b ・ ㉔

評価機関のコメント

★玄関の掲示板にて感染症の発生をわかりやすく知らせたり、安全確保のための体制を整備し、避難訓練等を行っている。  
 ★事例を収集し、記録として残し、要因分析や検討を行っていない。職員間では把握され、その場その場で対策を立てている様子は伺えるので、記録に残し、対策を立てられることを期待する。  
 ★マニュアルがない。発生状況についてはしっかり把握し、対応されているので、マニュアルを早急に作成することが期待される。  
 ★点検表にしたがって点検が行われているが、マニュアルが整備されていない。  
 ★事故防止のチェックリストを確認できた。業者点検は半年に一度行われている。  
 ★事故や災害の発生に対するマニュアルがあり、職員全員に周知されている。  
 ★マニュアルはないが防犯訓練をどのように行っているのか、説明してもらった訓練も行っていることを確認する。現在行っていることを明文化し、マニュアルとして機能させることを期待される。

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	保 33	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(1)-②	保育所が有する機能を地域に還元している。	保 34	Ⓐ ・ b ・ c
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	保 35	a ・ b ・ Ⓒ
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	保 36	a ・ b ・ Ⓒ
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	保 37	a ・ b ・ Ⓒ
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	保 38	a ・ b ・ Ⓒ
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	保 39	a ・ b ・ Ⓒ

評価機関のコメント

★地域に散歩に出たりして交流を行っているとのこと。園の行事に参加を呼び掛けることもあるとのこと。  
 ★夏祭りなどの園の行事や月に1回の園庭開放、子育て相談などを行っている。日誌に記録はあるが、具体的な記録はないので文書で残されることを期待する。  
 ★ボランティアの受け入れは行っていない。ボランティアの受け入れについて、考え方や内容について検討されることを期待する。  
 ★行政機関との関わりはあり、連携は取れている様子はうかがえたが、具体的にどんなふうに関わりを構築していくのか意識化されていない。  
 ★市内全域からの通園なので地域の具体的な福祉や子育てニーズをつかむことは難しいため、行っていないとのこと。通園する家庭の子育てニーズは、行事ごとに行うアンケートなどで把握しているので、この部分については評価できる。  
 ★市内全域からの通園なので地域の具体的な福祉や子育てニーズをつかむことは難しいため、行っていないとのこと。通園する家庭の子育てニーズは、行事ごとに行うアンケートなどで把握してそのニーズに合わせて行事など考えられている。この部分については評価できる。

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	保 40	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	保 41	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(2)-①	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るなど利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	保 42	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	保 43	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	保 44	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	保 45	a ・ Ⓑ ・ c

#### 評価機関のコメント

<p>★基本姿勢が明文化されている。職員会議を設けて共通理解を持つように努めていることを主任保育士の聴き取りで確認する。</p> <p>★記入しやすい書式を準備し、その都度、事例が生じた場合は書き込みをすると保育にも生かされ、職員の共有化にもつながるので、マニュアルを整備し、職員に周知することが望まれる。</p> <p>★アンケートをとり、結果は保護者に知らせ保育に生かすように努力していることを主任保育士の聴き取りにて確認する。育児相談についての議事録がないので、職員間の共通理解を図るためにも、今後は文章化され残すことが望まれる。無理のない範囲で保護者との個人懇談会の時間を設けるなど、保護者の意向を把握する方法を検討されたい。</p> <p>★マニュアルがないので作成することが望まれる。記録を残し、今後の保育に生かしてほしい。相談相手が選択できるのは、いい取り組みである。</p> <p>★相談窓口を明文化し、保護者が見やすい場所に提示し利用しやすいようにする工夫を期待したい。記録を残し共有化することが望まれる。</p> <p>★アンケートを実施し集計のうえ、保育に対して実践、改善されている点は認められる。職員間で共通認識するためにも、マニュアルを整備し、意見、要望、回答等の記録を残すようにされたい。</p>
--

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果	
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	保 46	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善計画を立て実施している。	保 47	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	保 48	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 49	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	保 50	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	保 51	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	保 52	Ⓐ ・ b ・ c

## 評価機関のコメント

★職員間の意見が出しやすい雰囲気がある。管理者も聞く姿勢は見受けられる。評価結果を検討し、今後の保育に生かしてほしい。  
 ★分析した結果や課題を文書化し改善されると、保育の質の向上につながると思われる。  
 ★月案、指導計画、個人目標等の記録を確認する。  
 ★今後は定期的に検証、見直しの仕組みを文書化して実施し、保育に生かされることを望まれる。  
 ★月案、指導計画を文書で確認する。内容として1歳児、2歳児の評価、反省の欄があるとよい。  
 ★記録の管理はきちんと行われていた。マニュアル、文章化されると、管理、利用はしやすいように思われる。情報の開示を求められた場合にも対応できる。  
 ★会議の議事録を確認する。

## Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果	
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	保 53	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	保 54	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-①	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	保 55	a ・ Ⓑ ・ c

## 評価機関のコメント

★色々な方法、手段で情報は提供されている。  
 ★保護者にわかりやすいように提示物、プリントは工夫されている。説明時にその内容にもれがないよう、様式にしたがって、事例発生時に書き込みなどされるとより明確になる。  
 ★児童記録は保育園のみ転園先に送っていることを主任保育士から聴き取る。卒園、退園の際に、相談窓口を設けている旨を周知されるとより望ましい。

## Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果	
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	保 56	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	保 57	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	保 58	a ・ Ⓑ ・ c

## 評価機関のコメント

★その都度記入し、保護者にもきちんと連絡していることを確認する。  
 ★保育課程、指導計画を文書で確認できた。職員会議も月2回、正規職員全員参加で行い、計画策定の体制を機能させていることがうかがえた。パート職員にもその内容を連絡する体制が整えられている。  
 ★指導計画の見直しが行われていることが確認できた。特に必要な場合は全職員が知ることも大切であり、今後の保育に活かされるので、記録を残すことが望まれる。

Ⅲ-5 保育の固有サービス

		第三者評価結果	
Ⅲ-5-(1) 健康管理・食事サービスが適切に行われている。			
Ⅲ-5-(1)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	保 59	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-②	健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	保 60	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-③	食事を楽しむことができる工夫をしている。	保 61	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-④	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	保 62	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑤	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	保 63	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑥	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て適切な対応を行っている。	保 64	a ・ b ・ ㉔
Ⅲ-5-(2) 保育環境が適切に整備されている。			
Ⅲ-5-(2)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保 65	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-②	生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	保 66	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3) 保育内容が適切に行われている。			
Ⅲ-5-(3)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	保 67	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対処している。	保 68	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	保 69	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-④	身近な自然や社会と関われるような取組がなされている。	保 70	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	保 71	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	保 72	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	保 73	a ・ ㉔ ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	保 74	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 75	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 76	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 77	非該当
Ⅲ-5-(3)-⑫	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を考慮しながら行っている。	保 78	非該当
Ⅲ-5-(4) 入所児童の保護者の育児支援が適切に行われている。			
Ⅲ-5-(4)-①	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	保 79	a ・ ㉔ ・ c
Ⅲ-5-(4)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	保 80	a ・ b ・ ㉔
Ⅲ-5-(4)-③	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに保育所長まで届く体制になっている。	保 81	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-④	虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	保 82	Ⓐ ・ b ・ c



## 評価機関のコメント

- ★マニュアルを確認する。乳児保育の健康管理について、園用、保護者用ともきめ細やかな記録があり確認する。是非継承されたい。
  - ★保護者への伝達が明確に行われていることが確認できた。
  - ★落ち着いて食事している様子を確認する。保育士の子どもに対する声がけもやさしく適切にされていた。
  - ★栄養士、調理師と保育者との連絡が密に行われていることを主任保育士からの聴き取りで確認する。年齢、個人差を配慮し、適切に対応している様子がうかがえた。
  - ★市の献立表を参考にし、園独自の献立表を工夫し、家庭へ配布している。サンプル(写真)の提示はわかりやすく好感が持てるものであった。
  - ★除去食の提供にあたっては、保護者の求めだけを受けて安易に判断することはなく、嘱託医、専門医の指示のもとで対応している。代替食の対応もある。マニュアルを作成し、文書化される事が望まれる。
- 
- ★施設、遊具もチェック表に基づいて、毎日点検、整備されていた。年1回は専門業者による点検、整備もされている。換気、室内の温度、湿度も適切に対応されている。ともにチェック表など記録を確認できた。
  - ★季節にふさわしい壁面飾りがあった。屋外、室内とも清潔にされていた。午睡時、ベッド、ラック、床と個人にあわせて対応されていた。
- 
- ★子どもをやさしく受けとめ落ちついておだやかに相手をされていた。子ども達も個々にゆったりと遊んでいた。
  - ★排泄をうながす行為や対応がスムーズに行われていた。おむつ替えも無理強いすることなく行われていた。個々にあわせた保育が行われている様子を確認できた。
  - ★発達段階にあわせたオモチャ、遊具が整備されていた。子どもは自分の好きな遊びをみつけて、ゆったりと遊んでいる姿が見られた。
  - ★年間行事予定表があり、季節の行事がとり入れられていた。写真等の記録からもその様子がよくわかった。散歩にも積極的に出かけていることを計画や主任保育士からの聴き取りで確認できた。
  - ★絵本の読み聞かせや紙芝居の場面を見ることができたが、子ども達は落ち着いて見ていた。
  - ★文化の違いへの配慮は行われていることが聴き取りで確認できた。権利、人権問題の研修があったら積極的に参加されることが望まれる。研修に出席した場合は、その職員が参考文献、資料、等を回覧し、全員で共有するようにしている。
  - ★性差への取り組みは特にされていないが、固定的な対応はされていないことがうかがえた。名簿も男女混合の生年月日順に作成されている。
  - ★よく配慮されていた。指導計画、個別計画の記録を確認する。寝返りのできない乳児を寝かせる場合は、仰向けに寝かせていた。睡眠時の健康チェック表にはその記録が明確に記入されていた。
  - ★指導計画に長時間保育についての位置づけがなされている。家庭的なふんい気が感じられる。夕飯や軽食が提供されている。ゆったりと接している。子どもの状況について職員間の引継ぎが適切に行われている。
- 
- ★子育て相談に応じたり、個別面談の機会を設ける等、積極的に保護者に対する子育て支援を行っている。
  - ★保護者との調整が難しいと思われるが、個人懇談会ができると、さらにより保育ができると感じられるので個人懇談ができるように努力されることを期待する。
  - ★記入様式を準備し、その都度書き込み、職員全員で保育の共有化することが望ましい。
  - ★体制は整備されているので、より職員全員にわかりやすくするために、それを図式化などして掲示することを提案する。
  - ★マニュアルは整備されていることを文書で確認できた。照会、通告の対応がより速やかに行われるように、体制が図式化された表を作成し、掲示することを提案する。